

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	71	学校名	浜松西高等学校中部	校長名	中村 泰子
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 校訓

知（高い知性）・仁（豊かな心）・勇（たくましい力）

(2) スクール・ミッション

進取の精神に富む国際都市・浜松における中高一貫教育及び高校教育の拠点校として、すべての教育活動を通して、生徒に高い知性、豊かな心、たくましい力を育み、社会貢献への高い志を持つ人材及び国際社会のリーダーとして輝く人材の育成を目指す。

(3) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
①生涯にわたって学び続け、自らの知性を人々のため、社会のため、世界のために生かそうとする意欲を持つ人 ②現代社会の様々な課題を認識し、主体的に解決しようとする意欲を持つ人 ③リーダーシップと行動力を兼ね備え、地域社会、国際社会において活躍しようとする意欲を持つ人	①「高い知性」を身に付けるため、生徒の知的好奇心、探究心を大切にし、知識・技能、思考力、表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。 ②「豊かな心」を身に付けるため、様々な教育活動を通して、生徒の人間性、創造力、リーダーシップを育成する。 ③「たくましい力」を身に付けるため、生徒による様々な取組を通して、行動力、主体性、自律心を育成する。	①主体的に学習に取り組み、本校での学習に必要な学力を身に付けている人 ②地域社会・国際社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲がある人 ③生徒会活動、学校行事、探究活動、部活動等に積極的に取り組もうとする意欲がある人 ④自らの目標の実現に向けて、粘り強く取り組もうとする意欲がある人

【生徒が身に付けたい10の力】

知：知識・技能、思考力、表現力

仁：人間性、創造力、リーダーシップ

勇：行動力、主体性、自律心

統合：課題発見解決能力

(4) 目標具現化の柱

- ア 知的的好奇心・探究心を大切にし、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。
- イ 地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。
- ウ 生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。
- エ 自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。
- オ 目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校づくりを進める。
- カ 系統的・組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。
- キ 生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をもつプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワークライフ・バランスの保持・向上に努める。
- ク 「魅力ある学校づくり」を進め、中高一貫の特色を生かした信頼される教育体制の充実に努める。
- ケ コンプライアンスを遵守するとともに、情報の発信を積極的に行い、生徒・保護者・地域の人々から信頼される学校経営に努める。
- コ 教育目標を達成するため、各目標具現化の柱の遂行に係る適切な財務執行を図る。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	知的好奇心・探究心を大切にし、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画に基づく効果的な授業と指導の充実に努める。 ○「何が分かるか」「何ができるようになるか」が明確な授業を行う。 ○単元構成や課題提示の工夫、導入の工夫などを通して、生徒の知的好奇心や探究心を掻き立てるとともに「課題発見・解決の力がつく」ような授業を行う。 ○計画的に学習指導を行い、授業⇄家庭学習（予習・復習）の循環を意識した、効果的な家庭学習の方法、内容の質・量を充実させ、自己調整的な学習習慣を確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「授業の内容がよく分かっている」「授業は学力を伸ばすことに十分役立っている」各90%以上 ○「興味や関心を喚起される授業が行われている」90%以上 ○「授業⇄家庭学習（予習・復習）の学習サイクルが確立できている」数・英各70%以上 ○「家庭学習が充実している」80%以上 	教務課 各教科 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> ○図書委員会による広報「西高図書百選」を活用し、読書への意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「毎日読書ができている。」80%以上 	図書・情報課
イ	地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○アウトプットで終わる単元構成や意図的な交流活動を積極的に設ける。 ○ICTを積極的に活用するとともに、主体的な学びと対話を重視した学びを充実させ、生徒の意欲とコミュニケーション能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分の意見を相手にはっきり伝えることができる」80%以上 ○「相手の意見をしっかりと受け止めることができる」80%以上 	教務課 生徒課 各教科 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> ○授業、特別活動、部活動等において、生徒一人一人が役割を持ち、責任を持って取り組むことで、行動力、主体性、自律心を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分から進んで行動できる」80%以上 ○「学校生活に満足している」80%以上 	
ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ○行事等の後には振り返りを記述、掲示することで、互いの思いを共有できるようにさせる。 ○毎週の道徳の授業を大切に、タイムリーな題材で、心を豊かにする教育を行う。 ○思春期セミナー、薬学講座を実施する。 ○ASEを活用する。 ○いじめの未然防止に努める。 ○スクールカウンセラーとの密接な情報交換を行う。 ○中高合同でエピペン講習会・救急法を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「相手の立場や意見を尊重している」90%以上 ○「自他の生命の大切さについて、主体的に考えている」80%以上 ○思春期セミナー、薬学講座、ASE（2回）を実施する。 ○いじめに関する研修を2回以上実施する。 ○いじめアンケートを3回以上実施する。 ○月1回以上生徒指導報告会を実施する。 ○エピペン講習会・救急法を実施する。 	生徒課 保健課 各学年

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> ○大規模地震に対応する能力を育てるための防災教育の充実を図り、防災マニュアルポケット版を常時携帯させる。 ○大規模災害発生後の残留生徒・避難住民への対応の諸課題を整理し体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災マニュアルポケット版の携帯率100% ○「地震等の災害時の対応(行動)について理解している」90%以上 ○防災に関する職員研修を実施する。 	総務課
		<ul style="list-style-type: none"> ○バスマナーなどの登下校における交通マナーについての指導を年間10回以上実施し、マナーの向上を図り、安全意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通マナーに関する苦情0件・交通事故0件 	生徒課
エ	自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア体験活動への参加を奨励する。また、地域等の活動や職場見学・体験等を通して社会と自己との関わりに関心を持たせ、奉仕の精神を涵養する。 ○チャレンジリストの実施や体験学習・リーダー育成講座等への参加を促し、情報を提供したり、「西山台チャレンジサポート事業」の活用を推奨したりする。 ○総合的な学習の時間を通して課題解決や探究活動への主体的・創造的な態度を育て、自己の在り方・生き方への考えを深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ボランティア活動や地域の活動(地域防災訓練など)に参加した」70%以上 ○「困っている人がいれば手助けをすることができる」90%以上 ○「総学が問題解決能力を高めたり、進路探究に役立っている」80%以上 	生徒課 教務課 保健課 各学年
オ	目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> ○西高等学校中等部生としての誇りを持ち、爽やかな挨拶、正しい服装、時間厳守等の基本的な生活習慣の定着とマナーの向上を図る。 ○昇降口であいさつ指導を行う。 ○学年集会等の実施により、マナー、服装等の指導を共通理解の下に行う。 ○部活動や学校行事等の活動に主体的に取り組む態度を育成し、何事にも全力で最後まで粘り強く取り組むように指導を行う。 ○生活ノートから家庭での学習状況を把握し、十分でない生徒へは随時個別面談を実施、指導、助言を行うとともに、保護者と連携し、生徒の取組を促進する。 ○清掃に一生懸命取り組むように指導するとともに、主体的に取り組む姿勢を育てる。また、生活環境を整える習慣を確立させる。 ○特別清掃日を設定し、環境整備活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「校則等の決まりを守って生活している」90%以上 ○「規則正しい生活をしている」90%以上 ○「目標を達成するまでねばり強く取り組むことができる」80%以上 ○「学習でわからないことは調べたり聞いたりして解決している」80%以上 ○「校内美化(清掃等)に前向きに取り組んでいる」90%以上 	教務課 生徒課 保健課 各学年

様式第 1 号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
カ	系統的・組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ○『進路資料』（進路指導計画）で進路意識向上を図る一方、土曜講座、大学見学や「進路講演会」等で夢や志を育てる。 ○基礎学力の向上や学習意欲、教養を高める土曜講座を行ったり、夏季課外を実施したりして、授業と家庭学習を基軸とした学力育成の取組を的確に支援する。 ○模擬試験の結果分析を基に対応策を講じ、事前・事後指導を充実させる。 ○「職場見学」や「宿泊訓練」等を通して、物事に主体的・創造的に取り組む態度を育てる。また自己の在り方や生き方について考えを深めさせる。 ○進路情報を適切に生徒や保護者に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○講演会等年間 2 回以上実施する。 ○県学力診断調査で 8 割以上の得点が取れる生徒 80% 以上 ○「進路に関する情報や指導を十分受けている」70% 以上 ○「3 年間または 6 年間を通じた進路指導計画について知っている」70% 以上 ○「大学教員などの外部の方から話を聞くことで進路意識が高まっている」70% 以上 	進路課 各学年 各教科
キ	生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をもつプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワークライフ・バランスの保持・向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○公開授業・授業見学を通して授業力の向上及び中高の授業交流の推進を図る。また、授業リサーチを通し授業改善を推進する。 ○教科指導力向上のため、外部の研修会（オンライン含む）に参加する。 ○ICT活用や探究的な学びに取り組んだ授業を実施する。 ○観点別学習状況評価について研究する。 ○家庭・地域との連絡を密にする。 ○昼休みや休み時間でも、教室や学年廊下での様子を観察しながら、適切な声かけをする。 ○日常の場面で、諸指導に関する協働的な活動を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公開授業と年 2 回以上の授業見学 100%。 ○授業リサーチを実施する。 ○計画的・意図的な研修会の実施、外部の研修会に積極的に参加する。 ○ICTを活用した授業の実践および共有が促進される。 ○教科主任者会での情報共有や意見交換が行われる。 ○「学校に信頼することができる教師がいる」80% 以上 ○指導力を高める取組を協働して実施できた教員 70% 以上 	研修課 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> ○定時退勤日（基本は水曜日）の実施を奨励する。 ○こまめに声掛けを行い、月 80 時間以上の時間外勤務従事者を減らす。 ○サービスや休暇に係る制度を適切に利活用し、生活の質を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○管理職からの声掛け 100% ○月 80 時間以上の時間外勤務従事者 5% 以下 ○月 1 回以上の定時退庁 100% ○管理職からの説明・情報提供 ○健康促進のための取組が実施できた教職員 70% 以上 	管理職

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ク	「魅力ある学校づくり」を進め、中高一貫の特色を生かした信頼される教育体制の充実に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○指導、進路指導、総学の6年間シラバスに基づく指導の充実に努めるとともに、初期指導でシラバスを活用し、年1回見直しを図り改善する。 ○授業、部活動における中等部職員と高校職員の兼務・人事交流を活性化させ、一貫教育を推進する。 ○中高合同で生徒支援委員会を行う。 ○6年間を通じた進路指導を行う。 ○高3が中3を指導する先輩チュートリアル、高3担任による中3の面接指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「シラバスから授業の年間計画が分かる」80%以上 ○初期指導でシラバスを活用し、年1回見直しを行う。 ○中高教員の乗り入れ 8人以上 ○生徒支援委員会年6回以上 ○「3年間または6年間を通じた進路指導計画について知っている」80%以上 	教務課 進路課 保健課 各教科
ケ	コンプライアンスを遵守するとともに、情報の発信を積極的に行い、生徒・保護者・地域の人々から信頼される学校経営に努める。	○教育活動の見直しと改善を図るために、学校運営協議会において意見聴取を行い、その結果を公開する。	○「学校の教育活動に信頼感を抱いている」保護者 90%以上	管理職
		○教育活動の紹介と情報提供のために、コンプライアンスの遵守に配慮したホームページの内容の充実と迅速な更新を行う。	○ホームページ年間更新 100件以上・アクセス数 50,000件以上	図書・情報課
		○学校説明会やオープンスクールの内容・日程改善を図り、広報活動の充実を図る。	○「学校説明について分かった」参加者 90%以上	総務課
コ	教育目標を達成するため、各目標具現化の柱の遂行に係る適切な財務執行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○電気使用量等、経費削減の徹底と学校経営予算の計画的、効果的な執行を行う。 ○法令、コンプライアンスを遵守した適正な事務処理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校経営予算の執行率 100% ○法定点検等指摘事項の改善 100% ○監査、検査等での指摘事項 0件 	事務室